

復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

団体名	盛岡信用金庫
取組名称	トップセールスによる団体旅行招致活動で観光産業の支援
取組概要	<p>【背景と経緯】 東日本大震災による建物などの被害や、原発事故、継続的な余震、風評により旅行者が激減した観光産業の支援を行う必要がありました。全国の信用金庫では、各種サークル会員の旅行を企画・実施していることから、当金庫では、首都圏や東海地区の信用金庫を中心に、トップセールスによる団体旅行の招致を行いました。</p> <p>【具体的な活動】 平成23年7月から、当金庫の営業地域にある温泉宿泊施設を中心に観光施設を巡る手作りのモデルコースを持参し、各信用金庫の理事長と直接面談して、岩手県の魅力を説明しました。また、来県された旅行団の皆様に向けて、職員の有志で立ち上げた「もりしんさんさ踊り同好会」が、さんさ踊りを夕食会場で披露したほか、各地方公共団体等と連携し歓迎セレモニーを開催するなど、おもてなしの心で温かく受け入れています。</p>
取組成果	<p>平成23年7月のトップセールス開始から令和元年12月までに、延べ25の信用金庫旅行団、6,935名のお客様が来県されました。平成30年度に観光庁が公表した「観光入込客統計」による岩手県への観光客（県外からの宿泊客）の観光消費額単価32,488円／人回を参考にすると、約2億2千万円相当の経済効果があったと推測されます。</p> <p>また、理事長同士の新たな人脈が構築できたことから、のちに被災地復興支援として首都圏で開催されるビジネスフェアに当金庫取引先が出展する機会へつながり、現在も深い交流が続いています。</p>
その他	<p>これまでの観光招致活動は、東北新幹線や東北自動車道を利用しやすい地域を中心として行ってきましたが、今後は更なるステップとしてより遠方からの招致ができないか模索し、次の2つの企画を広報しています。</p> <p>① 岩手県6金庫、宮城県5金庫が連携し、信金中央金庫東北支店、旅行会社の協力のもと、宮城県の仙台空港を起点に、岩手・宮城の魅力を十分満喫できる観光パンフレット「『親近(信金)感あられる旅』岩手県・宮城県の旅」を作成し、全国の信用金庫へ発信しました。</p> <p>② 盛岡・花巻・山形・米沢・ひまわり・二本松の6信用金庫と信金中央金庫東北支店が連携し、ワインツーリズムによる地方創生と取引先支援の一環として、岩手・山形・福島3県の9ワイナリーを紹介するパンフレット「東北しんきんワイナリー紀行」を作成し、全国の信用金庫へ発信しました。この取組みは、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局より、地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」三十三選に認定され表彰されました。</p>
URL等	当金庫HP該当ページURL http://www.morishin.co.jp/chiiki/index.php?id=shouchi

【夕食会場でのさんさ踊り披露】

